

か|か|み|が|は|ら 市議会だより

2019年5月1日発行

No. **174**

3月 6月 9月 12月
平成31年3月定例会

議案概要

平成31年度 P.2
当初予算・主な事業

委員会審査

防災備蓄倉庫 P.4
新たな設置場所は

一般質問

日野岩地大野線 P.8
第2期整備へ

一般質問

空宙博リニューアル P.9
成果と新事業

一般質問

防犯対策の P.10
現状と取り組みは

一般質問

お昼寝を見守り P.11
保育所でセンサー導入



今号の表紙
桜まつりパレード

「令和」最初の表紙を飾るのは、桜まつりでパレードをする「各務野さくらマーチングバンド」です。

2年連続全国大会出場を果たした6年生は今回のパレードで卒団しましたが、今年度も全国大会出場を目指し練習に励んでいます。

代表・一般質問

17人が
市政を問う P.7~



コンビニで各種証明書の発行が可能に
(関連記事は11ページ)

議案概要

平成 31 年 3 月定例会を 2 月 25 日から 30 日間開催しました。

市長から平成 31 年度一般会計予算をはじめ、57 案件が提出されました。

条例に関する主な議案は以下のとおりです。

▶ 印鑑条例の一部改正

マイナンバーカードを利用してコンビニなどのマルチコピー機で印鑑登録証明書を取得できるよう改正するものです。

▶ 犯罪被害者等支援条例の制定

犯罪被害者などに対する施策の総合的な推進と、権利利益の保護をすることで、市民が安全に安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指すため、新たに条例を定めるものです。

▶ 学校適正規模・適正配置等に関する基本計画策定委員会条例の制定

学校適正規模・適正配置等に関する基本計画の策定に伴う必要な事項について、調査や審議などを行うための委員会を設置するものです。

▶ 各務原勤労者野外活動施設の管理運営に関する条例の廃止

勤労者の余暇施設として、一定の目的を果たした「いこいの広場 伊木の森」を平成 31 年 3 月 31 日をもって廃止するものです。

平成 31 年度予算は、子ども・

子育て・教育分野の一層の充実に加え、現役世代やシニア世代の方々にもより充実した施策を用意し、全ての世代に目を向けた「全世代バランス型予算」となりました。

また「生涯現役社会 活躍し続けられるまち」をテーマに掲げ、市民が生涯にわたって活躍できるように、多くの事業を行います。

このページでは、新年度の主な事業について、総合計画の基本理念である「誇り」「やさしさ」「活力」の 3 つに分類して紹介していきます。

しあわせを実感できるまちを目指して

過去最大の予算を可決 対前年度比 9.6%増

誇り・やさしさ・活力の 3 つに分類して紹介！

クリーンセンター

基幹的設備改良事業

し尿処理施設であるクリーンセンター（蘇原宮塚町）の機能向上と長寿命化を図るため、平成 30 年度に引き続き基幹的設備の改良を行います。

学びの成果活用啓発事業

市内にある合唱、演奏、手話などのクラブやサークルが行っている地域活動をテーマとした

写真展を開催します。

それをきっかけとして、活動への参加啓発を行うとともに、活動が必要とする方とのマッチングを推進します。

自治会防犯カメラ設置補助事業

自主的な防犯活動を継続的に実施する自治会に対し、防犯カメラ設置にかかる費用の 2 分の 1 を補助します。



犯罪防止に役立つ防犯カメラ

1 年 度
計 予 算

8 億
万 円

誇

り

議|会|構|成

◎委員長 ○副委員長

3月定例会より、議会における役職や委員会の構成が変わりました。



議長
足立孝夫



副議長
川嶋一生



監査委員
横山富士雄

総務常任委員会

市全体の計画やPR、防災、消防など

◎大竹 大輔 ○小島 博彦
古川 明美 永治 明子
仙石 浅善 岡部 秀夫

民生常任委員会

税金やごみ処理、健康や福祉など

◎岩田 紀正 ○塚原 甫
水野 岳男 五十川玲子
吉岡 健 池戸 一成

経済教育常任委員会

産業や農業、観光や教育など

◎坂澤 博光 ○津田 忠孝
波多野こうめ 横山富士雄
足立 孝夫 川瀬 勝秀

建設水道常任委員会

道路や水道、公園の整備など

◎瀬川 利生 ○指宿 真弓
黒田 昌弘 杉山 元則
水野 盛俊 川嶋 一生

議会運営委員会

◎岡部 秀夫 ○津田 忠孝
五十川玲子 仙石 浅善
波多野こうめ 池戸 一成
川瀬 勝秀

新庁舎建設調査特別委員会

◎川瀬 勝秀 ○水野 盛俊
黒田 昌弘 指宿 真弓
仙石 浅善 坂澤 博光



多くの人で賑わうマーケット日和（学びの森）

賑わい創出事業

市民公園や学びの森一帯の賑わいを創出するため、市民公園のリニューアル整備の方針や那加福祉センターと勤労会館の臨時駐車場として利用している土地の活用方法を検討します。

生涯現役促進地域連携事業
各務原市生涯現役促進協議会の中で、多様な雇用形態の導入促進や高齢者専門人材バンクの設立などを行い、高齢者の就労マッチングを推進します。

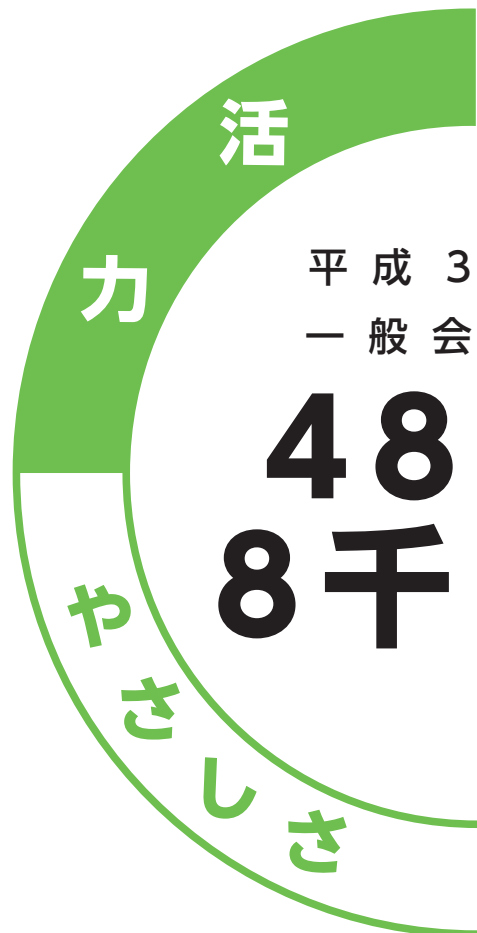
学食トレイ広告事業
学生に市内企業の採用やインターンシップの情報を伝えるため、大学内の食堂で利用される食器トレイに広告を掲載します。

マンホールトイレ整備事業
下水用マンホールの上に簡易な設備を設け、災害時に迅速にトイレ機能を確保するマンホールトイレを整備します。
平成31年度は、一次避難所となっている小中学校18校のうち、下水道が接続されている14校に設置するための設計を行います。

新生児聴覚検査費助成事業
聴覚障害の早期発見・早期療

成年後見利用促進事業
消費者被害や虐待などから、認知症の方や知的・精神障がいを持った方の生命、身体、財産などの権利を守るため、成年後見支援センターを設置します。
※同センターでは総合相談や、成年後見制度の利用支援、広報や啓発、後見人などの活動支援を行います。

※成年後見制度とは？
認知症や障がいなどで、判断能力が十分でない方の権利を守るため、家庭裁判所が選任する成年後見人などが、本人に代わり財産管理などを行うものです。



委員会審査

議案を分野別に4つの委員会に分け、詳しく審査を行いました。
各委員会での主な質疑の内容は次のとおりです。

総務常任委員会

平成31年度一般会計予算

〔所管分〕

問

コンテナ式防災備蓄倉庫
の新たな設置場所は。

答

平成31年度は那加中学校、
蘇原中学校、鶴沼中学校
の3カ所に設置する予定である。



すでに設置されているコンテナ式防災備蓄倉庫

問

自治会が防災資機材など
を購入した場合に補助を
行う、自治会地域社会活動補助
金の利用見込みは。

答

平成30年度は126自治
会の利用があった。

31年度は、150自治会の利
用を見込んでいます。

問

「特定空家等」に対する
法に基づいた行政措置の
内容は。

答

特定空家等になった場合、
助言・指導から始まり、
勧告、命令、戒告、最終的には
代執行という手順で進む。

措置を行う際には、各務原市
特定空家等審査会で慎重に審議
をいただきながら進めていく。

問

犯罪被害者等支援条例の制定

犯罪被害者などに関する
理解を増進するための広
報や啓発の方法は。

答

相談や情報提供などの窓
口をまちづくり推進課に
設置するほか、ぎふ犯罪被害者
支援センターや警察署に同制度
の案内リーフレットを設置する
など、関係機関と連携し広報活
動をしていく。

建設水道常任委員会

平成31年度一般会計予算

〔所管分〕

問

緊急対策踏切改良事業の
整備内容は。

答

踏切を拡幅し歩道を設置
するもので、平成31年度
はJR三柿野踏切の設計を行う。



拡幅予定の JR 三柿野踏切（蘇原三柿野町）

問

那加福祉センター勤労会
館駐車場活用事業の内容
は。

答

民間活力を活用し、学び
の森周辺に利便施設を設
置・運営することで、新たな賑
わいを創出する。

平成31年度は、1カ月程度の
社会実験を行い、事業効果の検
証と施設の運営事業者の選定方
法などを検討する。

平成31年度下水道事業

特別会計予算

問

公営企業会計への移行ス
ケジュールは。

答

平成31年9月中に会計シ
ステムを完成させ、10月
以降に条例改正などを行う予定
である。

市道路線の廃止及び認定

（市道各378号線ほか1路線）

問

これから整備を行う予定
の道路を市道として認定
する効果は。

答

用地取得の際に認定を行
うことで、区域決定手続
きが可能となり、地権者は法に
規定される譲渡所得の特別控除
が適用できる。

経済教育常任委員会

平成31年度一般会計予算

(所管分)

生涯現役促進地域連携事業の内容は。

問 55歳以上の高齢者が活躍し続けられる社会を目指すもので、1年目は事業PRや受け皿企業の開拓、2年目は人材バンクへの登録、3年目は企業と人材マッチングを図るため、企業との交流会や職場見学会を考えている。

問 ふれあいバスの改正内容は。

答 利用の少ない便を廃止し、増便の要望が多い川島線や稲羽線に再配置を行う。

問 コミュニティ・スクール事業を新たに実施する学区は。

答 平成31年度は那加、桜丘、蘇原、鶴沼の4中学校区での実施を予定している。

問 元気な農業産地構造改革支援事業の内容は。

答 新規就農するイチゴ農家に対し、栽培用ハウスの建設資金の一部を助成する。

問 弓道場整備事業はどのような内容か。

答 各務野スポーツの森の東にある広場に、新たに弓道場を整備する。



各務野スポーツの森（各務山の前町）

学校適正規模・適正配置等に関する基本計画策定委員会条例の制定

問 基本計画策定までの流れは。

答 学習環境の維持に必要な学校規模の目安をもとに、委員会の基本計画を策定する。

基本計画は、各地区説明会やパブリックコメントを実施した上で平成32年3月の完成を目指す。

民生常任委員会

平成31年度一般会計予算

(所管分)

福祉体験学習事業の新しい取り組みは。

問 中学生コースは、今までは座学中心のメニューであったが、車椅子で電車に乗るものや、車椅子バスやテニスを体験するメニューを新たに検討している。

問 各務原市成年後見支援センターの設置場所と開設予定時期は。

答 総合福祉会館2階に設置し、平成31年7月の開設を予定している。

問 センターに常駐する職員の資格要件は。

答 社会福祉士または精神保健福祉士の資格を持ち、過去に相談の業務を経験していることを条件とする予定である。

問 昨今の風しんの流行を踏まえて実施する風しん追加対策事業の対象者は。

答 これまでに予防接種法に基づく定期接種を受ける機会がなく、他の世代に比べて

抗体保有率が低い39歳から56歳までの男性を対象としており、約1万8300人を見込んでいます。

問 対象者への周知方法と、抗体検査を受ける場合の自己負担額は。

答 対象となる方にはクーポン券を送付することで周知啓発を図る。

クーポン券の利用により、自己負担額は無料となる。

平成31年度介護保険事業

特別会計予算

問 公募型介護予防教室支援事業の概要は。

答 地域の介護事業所などで施設の空きスペースや空き時間を活用し、65歳以上の高齢者を対象に、市が定める要件を満たした介護予防教室を開催する場合に助成をする。

問 助成を受けるための要件は。

答 安全に活動ができるようなスペースを確保することや、1回当たり1時間以上で月2回以上開催すること、また、内容に応じた専門職を配置することなどがある。

審議の結果

平成 31 年 3 月定例会

議案等の審議の結果は以下のとおりです。

全会一致…◎ 賛成多数…○

議案等の種類	案 件 名	審議の結果	採決の状況
新年度予算	平成 31 年度一般会計予算	可決	○
	平成 31 年度国民健康保険事業特別会計予算	可決	◎
	平成 31 年度介護保険事業特別会計予算	可決	◎
	平成 31 年度後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○
	平成 31 年度下水道事業特別会計予算	可決	○
	平成 31 年度水道事業会計予算	可決	○
補正予算	平成 30 年度一般会計補正予算（第 6 号）	可決	○
	平成 30 年度一般会計補正予算（第 7 号）	可決	◎
	平成 30 年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決	◎
	平成 30 年度介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	可決	◎
	平成 30 年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決	◎
	平成 30 年度下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）	可決	◎
条 例	職員定数条例の一部改正	可決	◎
	非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決	◎
	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	可決	◎
	犯罪被害者等支援条例の制定	可決	◎
	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	可決	◎
	手数料条例の一部改正（市民生活部所管分）	可決	◎
	印鑑条例の一部改正	可決	○
	国民健康保険条例の一部改正	可決	◎
	福祉医療費助成に関する条例の一部改正	可決	◎
	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	可決	○
	岐阜かかみがはら航空宇宙博物館条例の一部改正	可決	○
	各務原勤労者野外活動施設の管理運営に関する条例の廃止	可決	◎
	学校適正規模・適正配置等に関する基本計画策定委員会条例の制定	可決	◎
	放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部改正	可決	◎
	手数料条例の一部改正（都市建設部所管分）	可決	◎
	布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正	可決	◎
人 事	選挙管理委員及び補充員の選挙 （委 員…奥村守浩氏、小川一平氏、船戸泰義氏、松岡典子氏） （補充員…杉山忠男氏、牧田光宏氏、川瀬智美氏、浅野記子氏）	当選	◎
	監査委員の選任（横山富士雄氏）	同意	◎
	副市長の選任（小鍋泰弘氏）	同意	○
	教育委員会委員の任命（岩田重信氏）	同意	◎
	公平委員会委員の選任（各務英雄氏）	同意	◎
	農業委員会委員の任命（阿部治徳氏、小野木巨氏、小島健司氏、佐々木清氏、藤井皆夫氏、浅野春夫氏、足立可美氏、巖田繼廣氏、奥村政広氏、河合正嘉氏、川嶋綱男氏、木野昇氏、小林始氏、坂井孝子氏、櫻井千佳子氏、土屋輝男氏、長縄進氏、山田義夫氏、横山裕氏）	同意	◎
	人権擁護委員候補者の推薦（廣井治美氏、金武菊代氏、臼井喜久枝氏）	同意	◎
その他	市道路線の認定（市道鵜 1405 号線）	可決	◎
	市道路線の廃止及び認定（市道各 378 号線ほか 1 路線）	可決	○
	土地の処分	可決	○
	常任委員会の閉会中の継続調査	可決	◎

代|表|質|問

代表質問とは、所属議員3人以上の会派がそれぞれの政策・主張に基づき市政に関して質問するものです。今定例会では、政和クラブの津田忠孝議員と市議会公明党の五十川玲子議員が、会派を代表して質問を行いました。その一部を紹介します。

全世代バランス型予算と防災対策

政和クラブ

問 平成31年度予算案に込めた市長の思いは。

答 「しあわせを実感できるまち」をつくるため、市民の皆さんとの対話を通じて思いや目標を共有しながら、これまでさまざまな施策を進めてきた。

平成31年度においても、子ども・子育て・教育分野の強化を図るほか、シニア世代の方々に、より充実した施策を盛り込んだ。

加えて、現役世代の方々にも都市基盤や各種施設の整備、市内企業支援など、将来を見据えた施策を講じていく。

このような意味から、平成31年度当初予算については、すべての世代の方々に目を向けた「全世代バランス型予算」を編成した。

この予算案に盛り込んだ事業の一つ一つが、地域のつながりづくりや将来の安心な暮らしの基盤づくり、ひとの活躍、まちの活力につながるものであると確信している。

問 マンホールトイレ整備について今後の対応と課題は。

答 平成31年度に策定する各務原市下水道総合地震対策計画に基づき、供用開始区域内で一次避難所となっている14校の実施設計を行う。

整備は平成32年度以降となるが、工事箇所などについては、その都度、関係機関と協議を行いながら進めていく。

下水道が接続されていない4校については、今後の下水道整備計画の検討を踏まえ、仮設トイレの備蓄や既存の浄化槽へ流入する方式によるマンホールトイレでの対応を検討していく。

SDGsの達成を目指した総合計画

市議会公明党

問 2015年に国連が採択したSDGs^{エスディージーズ}(持続可能な開発目標)に対する本市の考えは。

答 SDGsは、環境、社会、経済をめぐる幅広い課題に統合的に取り組むことで、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指すものである。

そこには教育、健康、福祉、環境、衛生、雇用など自治体に取り組むべき課題が多く含まれる。

取り組むメリットとして、市民、団体、企業などの協働により地域課題の解決、地方創生につながっていくことが期待される。

SDGsの考え方は、本市が対話を通じて進める「オール各務原」のまちづくりと方向性は同じであり「しあわせを実感できるまち」の実現、すなわち総合計画に通じるものと考えている。

問 SDGsの達成を目指した市総合計画後期基本計画にする考えは。

答 自治体においてSDGsの取り組みを効果的に進めていくためには、市民や企業、各種団体がその意義を理解した上で活動をしていくことが重要である。

しかし、本市における認知度は、まだまだ高くないと感じている。

このような状況において、市の最上位計画である総合計画に盛り込むことは非常に意味のあることである。

したがって、新たに策定する後期基本計画では、まずはSDGsを計画の前提事項の一つとして位置付けるよう検討しており、そうすることでSDGsへの理解が進み、達成につながると考えている。

一般質問

3月定例会で一般質問をした議員（質問順）

川嶋一生／杉山元則／吉岡健／指宿真弓／水野岳男／仙石浅善／瀬川利生／小島博彦／波多野こうめ／古川明美／塚原甫／大竹大輔／岩田紀正／永治明子／坂澤博光

市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針などを、各議員が市に
対して質問しました。その一部を紹介します。

日野岩地大野線の第2期事業に着手

交通渋滞の解消や産業の振興に期待

問 日野岩地大野線整備の進捗状況は。

答 いちよう通りから南の1770mのうち本市が整備する1040mは、踏切の拡幅工事などが完了した。

問 残りの約280mは平成31年度中に完了する予定である。
答 第2期事業の整備の概要は。

問 いちよう通りから北の約940mのうち、本市は

答 約700mを整備する予定で、事業期間や事業費は、交通量推計の結果をもとに検討していく。
問 広域交通ネットワークについての考えは。

答 都市計画道路の整備率は約73%となっている。



日野岩地大野線第2期事業の範囲(イメージ図)

日野岩地大野線や岐阜鵜沼線は、渋滞の解消や産業の振興などが期待できることから、計画された広域幹線道路の整備を推進していく。

通学路の安全対策

問 通学路合同点検で危険箇所として報告され、安全対策を実施した件数と内容は。

答 平成29年度は28件、30年度は44件の安全対策を実施した。

問 主な対策は、路面に色を付けるカラー舗装や注意喚起看板の設置などがあるが、道路沿いの民地の構造物が障害となる事案などは改善方法に苦慮している。
答 桜木町から鵜沼南町を通る道路の安全対策は。

問 地元の自治会が「住民による生活道路の安全対策検討会」を開催し、市職員も参加した。

答 検討会において安全対策を提案した結果、平成31年度にガードレールを設置するとともに、ゾーン30の指定について、県公安委員会に要請し、年内には成立する見込みとなった。

自然環境の保全

問 パークレンジャーの高齢化への対策は。

答 広報紙などでの会員募集や団体への表彰などの啓発活動に努めているが、根本的な解消には至っていない。

問 一方で、活動の輪が広がった団体などの成功事例もあることから、その事例を参考に、より効果的な啓発に努める。



緑化作業をするパークレンジャー

空宙博リニユーアル1周年

航空検定を県内で初めて開催

問 空宙博リニユーアルから1年が経過したが、その成果は。

答 来館者からは「航空機の歴史や移り変わりが分かりやすく展示されていた」「展示が一段と充実し、宇宙への興味をそそられた」「スタッフの方が丁寧に説明してくれた」など嬉しい声を多数いただいております。航空宇宙分野における岐阜県が魅力の魅力を広く国内外にPRできたと考えています。

問 海外の博物館とは、どのように連携しているのか。

答 米国スミソニアン航空宇宙博物館との連携では、本市にゆかりのあるエンジンを無償貸与してもらい展示しているほか、本年2月には職員が現地を訪問し、学芸員の活動や展示の方法、収蔵物の保存などの視察研修を行い、空宙博の目指すべき姿を学んでいる。

仏国ル・ブルジェ航空宇宙博物館との連携では、ウェブサイトを利用した相互プロモーションを行っているほか、今年秋には同博物館長が空宙博に来館することから、共同での企画展の実施など、さらに連携を深めていきたいと考えています。

問 連携以外の新たな取り組みは。

答 地元企業の協力により、この地域で生産されている航空機部品などの展示を充実させることで、航空機産業における雇用や人材の育成につなげていきたい。

また、スミソニアン航空宇宙博物館を参考にして、新たにボランティアによる館内ツアーを計画している。

問 来館者を増やす方法として、空宙博を試験会場として「航空検定」の実施を誘致してはどうか。

答 公益財団法人日本航空教育協会が実施する航空検定は、航空機ファンの裾野を広げ、知識を深めながら楽しんでいただけるなど、空宙博で実施する意義は非常に大きいと考え

ており、現在、県内初の開催に向けて準備を進めている。



誰もが気軽に受験できる航空検定

道德教育

問 教科化による道德教育のあり方について、どのように考えているのか。

答 児童生徒が主体的に、そして多面的・多角的に、自己の生き方について理解を深めることができるように、多様な指導過程や指導方法の工夫を取り入れながら、計画的に実施していく。

また、教職員の研修会を開催し、児童生徒の道德性を育む道德教育の充実に一層努めていく。

英語教育の充実

問 ららら学習室での英語教育をどのように進めていくのか。

答 ららら学習室では、英語の学習に取り組む生徒も多く、講師の方には一人一人の質問に丁寧に対応していただいている。

平成31年度は、中学生を対象とする「ららら学習室ジャンプ」への英語を専門とする講師の配置に加え、小学校4年生から6年生を対象とする「ららら学習室ステップ」についても専門講師配置を検討していく。



教員経験者などが講師となる「ららら学習室」

防犯対策の現状と取り組み

二セ電話詐欺への注意喚起や地域での防犯活動

問

オレオレ詐欺や架空請求などの二セ電話詐欺の現状は。

答

市の消費生活相談室での架空請求に関する相談は、平成29年度は約140件で、28年度に比べて4倍以上と多くの相談が寄せられている。

問

被害防止に向けた取り組みは。

答

これらの相談に対して、消費生活相談員が対処方法を助言し被害の未然防止に努めている。

問

また、各務原警察署と連携して防犯や消費生活に関する出前講座をシニアクラブやボランティアハウスなどで実施している。

答

防犯ボランティア団体の活動内容は、市に登録のある防犯ボランティア団体は平成31年

2月末時点で10団体ある。

活動内容としては、定期的な夜間パトロールや、通学路での立哨を行っている。

また、防犯活動に熱心に取り組まれている有志で「地域住民は見ている」という趣旨の目玉をデザインした看板を作成設置しており、窃盗犯や不審者の心理に訴えかけている。

結果として、その地域では窃盗など刑法犯の発生状況がほかの地域と比べ大幅に減少している。



防犯ボランティア団体が作成した警戒看板

IoT・AIの進化

問

IoTやAIの導入による市役所の手続き簡素化の考えは。

答

IoTやAIをはじめとした情報通信技術の発展は、行政手続きの負担軽減に有用であると考えている。

問

技術開発の動向を注視し、市民ニーズや法制度、費用対効果など考慮しながら、行政手続きの簡素化による市民サービスや業務効率の向上を目指していく。

答

IoTやAIの進化に伴う市役所の人員配置と人員計画の考え方は、AIやロボット技術は、定型的な事務の効率化や生産性向上が期待されるが、企画立案業務や市民への直接的なサービス提供などへの活用は難しい。

そのため本市では、AIなどによる業務効率化に伴う人員削減はせず、付加価値が高く職員にしかできない業務に人員を配置するなど、メリハリをつけた人事行政の運営が必要と考えている。

新庁舎建設工事の発注方法

問

競争性の確保はどのように担保するのか。

答

工事品質を確保するために条件付きの一般競争入札を予定しているが、広く入札参加者を募り競争性を確保する。

問

市内企業の育成についての考えは。

答

一般的な技術力により独立した施工が可能で、市内の業者数で競争性が確保されると考えられる工事は、できる限り本体工事から分離し、市内企業の参加を優先して企業育成と地域経済活性化に努める。



新庁舎建設のため更地となった現庁舎南側

保育の現場を支援する取り組み

お昼寝中の動きを見守るセンサーを導入

問 幼保無償化による対象見込み園児数は。

答 無償化の対象となるのは、3歳以上児は約3900人、3歳未満児は約1000人である。

問 現在の保育施設で足りるのか。

答 現在3歳以上児のほとんどが就園中で、3歳未満児は住民税非課税世帯に限定されているため、今ある施設で対応できると考えている。

問 ただし、3歳未満児のニーズが増加しているため、今後は保育士確保に努めていく。

答 保育の人材確保への取り組みは。

問 県保育士・保育所支援センター主催の「保育のしごと」見学会を県内で唯一2回開催し、参加者18人のうち、6人を市内保育所などへの就職につなげることができた。

答 また、イオンモール各務原で初めて保育・幼児教育・介護に特化した合同企業説明会を開催

したところ、参加者の9割以上の方から好評を得た。

問 午睡時事故防止推進事業の概要とねらいは。

答 昼寝中の乳幼児の体の動きや向きなどをチェックし、異常を感じた場合アラームで知らせるセンサーを保育所などに導入する。

機器の導入により、保育士による見守りと合わせて、二重のチェック体制をとることで、安全対策を一層強化していくことができる。



保育所でお昼寝をする乳幼児

コンビニでの証明書交付

問 証明書コンビニ交付事業のメリットは。

答 マイナンバーカードを利用して、市内約60の店舗を含む、全国約5万4千力所のコンビニなどで、住民票などの各種証明書を発行することができる。

問 コンビニでは午前6時半から午後11時まで発行ができることから、市民の利便性の向上につながるかと考えている。

答 現在利用されている自動交付機の取り扱い。切り替えを考えているが、当面の間、併用する予定である。

成年後見支援センター

問 支援を必要としている方や関係者への啓発方法は。

答 地域包括支援センター、医療・福祉関係団体、民生委員など、関係団体や地域住民の方との地域連携ネットワークを構築し、成年後見支援セン

ターが中核となって制度の啓発や利用促進に努める。

災害対策の取り組み

問 避難所の資材の備蓄や業者などとの提携状況は。

答 災害時の避難者支援に必要な食料や日用品、仮設トイレなど、資材の供給について10件の協定を締結している。

問 防災意識啓発への取り組みは。

答 総合防災訓練などの開催や自治会に対し出前講座への講師派遣などを行っている。今後は、自治会長へ地区防災計画の作成マニュアルの配布を予定している。

議会を傍聴してみませんか？

どなたでも気軽に傍聴することができます。詳しくは議会事務局（☎ 058-383-2001）へお問い合わせください。

次回定例会の予定

6月5日(水)	開会
6月18日(火)～19日(水)	質疑・一般質問
6月24日(月)～25日(火)	常任委員会
6月28日(金)	閉会

市民の声

こんな街が いいな！



思いやりと子どもの 笑顔があふれる街

本多智子さん（那加本町）

昨年、娘を出産しました。
妊娠中、通勤電車で毎朝席を譲ってくれた女性やベビーカーを電車に乗せてくれた方など、各務原市には優しい方が多く、とても嬉しかったです。
また、ママ友や子ども館の先生との出会いはとても良い気分転換になりました。
市の乳児向けコンサートは、会場にじゅうたんが敷かれるなど、子どもが転がっても大丈夫な配慮がなされており、安心して参加でき、娘もとても楽しんでいました。
このようなイベントがもっと増えると良いなと思います。



盆栽を通じて 広がる街

影山章さん（蘇原六軒町）

私と盆栽との出会いは、ある盆栽園を訪れたのがきっかけでした。

自然を身近に感じられ、芸術的な盆栽を見て以来、虜になりました。

現役時代は土日のみの手入れと水やりが精一杯でしたが、定年後、技術面や培養面を学び、各地の盆栽展示会を見学して見る目も養ってきました。

今では朝夕の水やりと同時に盆栽を眺めるのが至福の時であり、生き甲斐でもあるので、盆栽をやってきて、本当に良かったと思います。

多くの人に楽しさを知っていただき、盆栽を通じて、人と人とのつながりが広がれば良いなと思います。



音楽と笑顔の あふれる街

丹羽美保子さん（前渡東町）

幼い頃から音楽に親しみ、現在、音楽アンサンブルグループに所属して仲間と一緒に活動しています。

各務原市の豊かな自然、活気のある人々の声、笑顔の恩恵を受けて活動ができることに、日々感謝の気持ちを込めて音楽を届けています。

主に病院や介護施設、保育園などで行っている演奏では、いつもあたたかい空気の中で、音楽が言葉を超えて伝わる実感があります。

音楽は人に笑顔と幸せを運ぶと信じて、ささやかな活動ではありますが、音楽でますます笑顔と感動が溢れる各務原市にしていけたら嬉しく思います。

就任のごあいさつ

市議会だより編集委員会



今号より、新たなメンバーで編集を行っています。
今後ともかみがはら市議会だよりをよろしくお願いいたします。

｜委員長｜水野盛俊　｜副委員長｜水野岳男
｜委員｜古川明美　塚原甫　小島博彦　指宿真弓

議長・副議長

「市民に分かりやすい議会、開かれた議会」を目指し、議会ルールを守り誠実に誠意をもって議会運営に努めてまいります。

議長 足立孝夫

市議会の歴史を基に、ルールと責任を重んじ、未来に向けた議論の場を目指して、皆様のご協力のもと議会運営にあたっております。

副議長 川嶋一生

市議会の詳しい情報は各務原市公式ウェブサイトからご覧ください。

各務原市議会

検索



かかみがはら
市議会だより

｜発行｜各務原市議会 岐阜県各務原市那加桜町 1-69
｜電話｜058-383-2001　｜編集｜市議会だより編集委員会

環境保護のため、
植物インキを
使用しています。

